

主題名「自信をもって」

(自律)

教材名「二つの声」

<本時のねらい>

○二つの心の声に悩む正二の気持ちを考えることを通して、自らが正しいと信じるところに従って、行動しようとする心情を育てる。

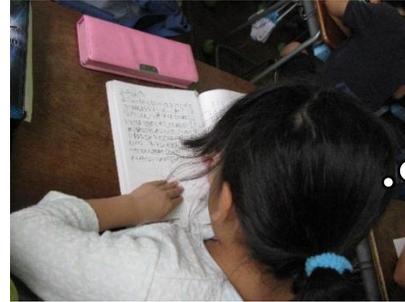
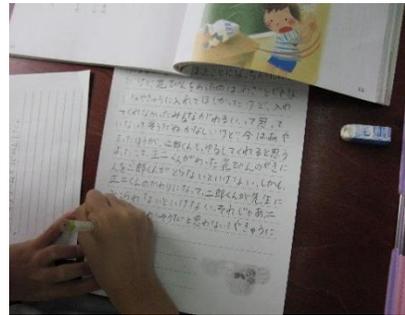


「いけない」
(よい声)
「かまわない」
(悪い声)
に分けて板書

①正しいとわかっていながらできなかったことはみんなあるね。このお話には、同じように悩んでしまう正二という男の子が出てきます。

②花びんをわってしまったとき、正二はどんな気持ちだったでしょう。

③「かまわない」「いけない」という二つの心の声の中で悩んだ正二は、どんな気もちだったでしょう。



私も言えなくて悩んだことあるよ。でも、言ったらすっきりしたよ。

言えなくて、もやもやしてしまったよ。



④正二君はとっても悩んでいます。悩んでいる正二君に手紙を書いてあげよう。もし、自分もこういう経験があったら、その時のことも書いてあげよう。

⑤書いた手紙を伝え合おう。

<「深い学び」の実現に向けての手だて→主人公に手紙を書く>

- ・二つの心の声(よい声と悪い声)の間で悩んでいる正二の気持ち→二つの心の声が戦い、はっきり言えないでいる正二の心の葛藤をおさえる。
- ・正二君に手紙を書く → 自分にもどうしたらよいか悩んだような経験があれば、そのことも書くことによって、自分の生活も振り返る。

手紙にみる
児童の反応

「(略)もしことわれば、いじめられるかもしれない。その時も<よい声>と<悪い声>があったんだ。でも、正直に言って「しかたないからいいよ。」って言ってもらったんだ。」

「(略)私なんて(本当のことを)言えなくて、あとでとても後悔したよ。でも君はまだ戻れるじゃないか。」